

◆ 新収蔵資料紹介（令和6年度2月）展示解説シート ◆

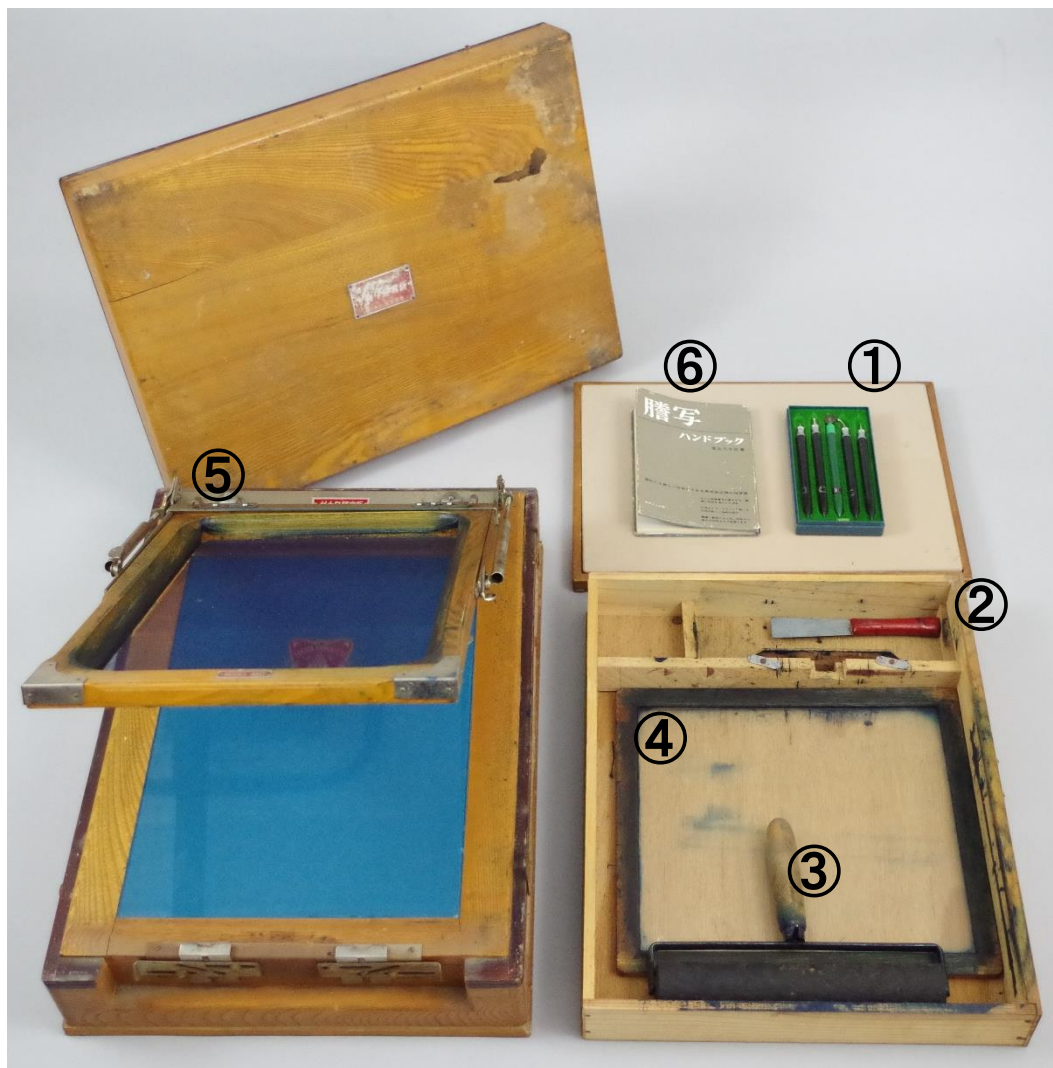
問題用紙も文集も、手書き印刷 ~ 膳写版（ガリ版） ~

とうしゃばん

会期：令和6年2月2日（金）～27日（火）

久留米市立六ツ門図書館展示コーナー

●「膳写版」及び「膳写ハンドブック」



《膳写版の道具》

- ① 鉄筆
- ② ヘラ
- ③ ローラー
- ④ インク練り盤
- ⑤ 孔版タイプ手刷り器
- ⑥ 膳写ハンドブック

※上記の他に、ヤスリ、原紙（ロウ紙）、インクを用いて印刷します。

令和5年5月9日付けで本市が寄贈を受けた「膳写版」及び「膳写ハンドブック」を初公開します。「膳写版」は昭和40年代の製品とみられ、小学校の配布物等の作成に使われました。その仕組みは、ヤスリ板の上に置いた原紙（ロウ紙）に鉄筆で絵や文字を刻み、その原紙を印刷機内にセットし、インクをつけたローラーを当てて紙に印刷するというものです。原紙を刻む音から「ガリ版」とも呼ばれました。明治27年（1894）に堀井新治郎親子によって実用化され、学校や会社を中心に普及し、20世紀を通して使用されました。

●関連資料（膳写版で印刷されたもの）

